

ごぶさたしております。

激しい雨が降ったり雷が鳴ったりと、このところお天気がぐずついていますね。

8月1日に開催しました「アウトソーシング説明会」にお越しくださったみなさま、
どうもありがとうございました。

説明会当日から8月末まで、業務に対するご提案を受付しておりましたところ、
たくさんのご提案をいただきました。

近日中に、みなさまからいただいたご提案をホームページに掲載いたします。

<目次>

◇新規委託業務の発注情報の更新

◇公共サービス改革法のご案内

◇「新規委託業務の発注情報」を更新しました

「高知県のアウトソーシング情報」ホームページに掲載しています

「新規委託業務の発注情報」を更新いたしました。

9月13日現在で、まだ契約の相手方が決まっていない業務(指名や募集の終了した業務は除きます。)は、15業務です。

発注予定情報はこちらをご覧ください。

(現在掲載しているのは最新年度の発注予定情報です。)

◇公共サービス改革法の関連情報をホームページに掲載しています

「公共サービス改革法」という言葉を最近良く見聞きするようになりました(以前は「市場化テスト法」とも言われていました)。

この法律は、公共サービスの質の維持向上と、経費の削減を目的に、民間が担うことができるものは民間に委ねるという考えから、公共サービスの担い手を、官と民あるいは民間での競争入札によって決めようというものです。

サービスの質とコストの両面から、より良いサービスを目指そうという狙いは、高知県が先行して取り組んでいるアウトソーシングと似通っています。

9月5日に閣議決定された「公共サービスの改革の基本方針」の情報も含めて、「公共サービス改革法の関連情報」のホームページに掲載しましたのでお知らせします。

「公共サービス改革法の関連情報」

(現在は掲載していません。)

◇編集後記

[元気印(#^^#)]のひとこと！



『仕様書』

先日、大好きな映画「タワーリング・インフェルノ」(’74)を観ていたら、主演のポールニューマンが気になるセリフを…。

この映画は、138 階建ての超高層ビルが大火災に見舞われるといったパニックものなのだが、そのセリフはビルの設計士役のポールニューマンが火事の原因を発見したときのもの。

「部品が仕様書と違うじゃないかっ！」

ビルのオーナー関係者が、リベートのために安価な部品へと仕様書を書き換えて発注していたのだ。

この 4 月から、県庁業務を委託する際の職員の“つとめ”として、仕様書をしっかりと作り、業務の品質をチェックする取り組みの真っ最中！
これまでは聞き流していたセリフに“ハッ！”。

更に、おしりに“火”がついている行政事情と絡んでしまい、パニック映画の真髓を知ってしまった^^；

高知県の「品質管理」のHP

↓

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/110301/gyoukai-hinshitsu.html>